

GMアタッチメント101キット

取扱説明書

ご使用上の注意

- ① 本製品は「緩徐拡大装置」に属します。したがって一般的な緩徐拡大と同様、舌側傾斜した側方歯群を整直させますが上顎骨自体の側方拡大には適応しておりません。
- ② ボンディングする歯の舌面傾斜が強く、咬合時に装置が**対合歯と干渉する症例には使用しないで下さい。**
- ③ 効率的に歯が移動移動しますので来院間隔は3～4週間程度とし、間隔をあげ過ぎないようにご注意ください。
- ④ 固定ネジは脱落予防のため、回す最後にストップします。それ以上無理に回さないで下さい。

(本製品は未滅菌です。)

内容

GMアタッチメント101	10個
トランスファー用アタッチメント	10個
ドライバー	1個

医療機器認証番号:224AKBZX00068000 管理

製造販売元 株式会社若吉製作所
福井県鯖江市杉本町36-2

発売元 株式会社ロッキーマウンテンモリタ
東京都千代田区神田駿河台2-2御茶ノ水杏雲ビル14F
TEL: 03-5281-4711 FAX: 03-5281-4716

使用方法



- ① 初めにGMアタッチメントを大白歯の舌側にボンディングしたのちに、印象採得する。



- ② トランスファー用レプリカにはアンダーカットの突起がある。



- ③ 採得した印象にレプリカをはめ込み、石膏を注入する。



- ④ 作業模型の完成。



- ⑤ φ0.9mm GUMMETALワイヤーを屈曲してパッシブに適合させる。



- ⑥ 矯正量を考えてアクティベートする。



- ⑦ 専用ドライバー
使用する際は、必ずチェーンリングを手指にはめて誤嚥事故を予防する。
ドライバーはステンレス製で高圧蒸気滅菌処理が可能です。



- ⑧ 屈曲したワイヤーを口腔内のGMアタッチメントのスロットに入れ、専用ドライバーでネジを締める。従来の緩徐拡大同様、後戻りを見こしたオーバーコレクションを心掛ける

使用例



- ① ホールディングアーチ 図9



- ② 側方拡大も可能な舌側弧線装置 (被蓋の改善) 図10



- ③ コフィン型拡大装置 (大白歯部の拡大) 図11